

会議録【全文筆記】

会議名称	令和6年度 第4回米沢市総合計画審議会																																																						
開催日時	令和7年1月10日(金) 午前10時00分～午前12時00分																																																						
開催場所	庁議室																																																						
出席者	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>(委員等氏名)</th> <th>(所属団体等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>野々村美宗</td> <td>山形大学工学部 副学部長</td> </tr> <tr> <td>会長代理</td> <td>田中明子</td> <td>米沢商工会議所 事務局長兼総務企画部長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>伊藤広幸</td> <td>米沢市内高等学校校長会 会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>伊藤優子</td> <td>株式会社ニューメディア 取締役米沢センター長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>岩崎令子</td> <td>米沢観光コンベンション協会 副会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>大和田浩子</td> <td>山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>加藤公一</td> <td>米沢市芸術文化協会 副会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>川野敬太郎</td> <td>米沢青年会議所 特別常任理事</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>川村麻耶</td> <td>団体職員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>小関洋子</td> <td>米沢市青少年育成市民会議 副会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>小山克成</td> <td>米沢市小中学校校長会</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>島倉邦広</td> <td>米沢市電子機器機械工業振興協議会 会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>須貝容子</td> <td>米沢市保育会 副会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>清野雅好</td> <td>米沢市社会福祉協議会 地域支援課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>平山博志</td> <td>山形県自主防災アドバイザー</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>松田智博</td> <td>米沢市商店街連盟 理事長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>我妻康次</td> <td>米沢市コミュニティセンター館長会 会長</td> </tr> </tbody> </table>		(委員等氏名)	(所属団体等)	会長	野々村美宗	山形大学工学部 副学部長	会長代理	田中明子	米沢商工会議所 事務局長兼総務企画部長	委員	伊藤広幸	米沢市内高等学校校長会 会長	委員	伊藤優子	株式会社ニューメディア 取締役米沢センター長	委員	岩崎令子	米沢観光コンベンション協会 副会長	委員	大和田浩子	山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長	委員	加藤公一	米沢市芸術文化協会 副会長	委員	川野敬太郎	米沢青年会議所 特別常任理事	委員	川村麻耶	団体職員	委員	小関洋子	米沢市青少年育成市民会議 副会長	委員	小山克成	米沢市小中学校校長会	委員	島倉邦広	米沢市電子機器機械工業振興協議会 会長	委員	須貝容子	米沢市保育会 副会長	委員	清野雅好	米沢市社会福祉協議会 地域支援課長	委員	平山博志	山形県自主防災アドバイザー	委員	松田智博	米沢市商店街連盟 理事長	委員	我妻康次	米沢市コミュニティセンター館長会 会長
	(委員等氏名)	(所属団体等)																																																					
会長	野々村美宗	山形大学工学部 副学部長																																																					
会長代理	田中明子	米沢商工会議所 事務局長兼総務企画部長																																																					
委員	伊藤広幸	米沢市内高等学校校長会 会長																																																					
委員	伊藤優子	株式会社ニューメディア 取締役米沢センター長																																																					
委員	岩崎令子	米沢観光コンベンション協会 副会長																																																					
委員	大和田浩子	山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長																																																					
委員	加藤公一	米沢市芸術文化協会 副会長																																																					
委員	川野敬太郎	米沢青年会議所 特別常任理事																																																					
委員	川村麻耶	団体職員																																																					
委員	小関洋子	米沢市青少年育成市民会議 副会長																																																					
委員	小山克成	米沢市小中学校校長会																																																					
委員	島倉邦広	米沢市電子機器機械工業振興協議会 会長																																																					
委員	須貝容子	米沢市保育会 副会長																																																					
委員	清野雅好	米沢市社会福祉協議会 地域支援課長																																																					
委員	平山博志	山形県自主防災アドバイザー																																																					
委員	松田智博	米沢市商店街連盟 理事長																																																					
委員	我妻康次	米沢市コミュニティセンター館長会 会長																																																					
欠席者	<table border="0"> <tbody> <tr> <td>委員</td> <td>斎藤美綺</td> <td>株式会社 nitorito 取締役 デザイナー</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>佐々木隆行</td> <td>JA 山形おきたま米沢地区青年部 委員長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>土田良雄</td> <td>米沢市スポーツ協会 会長</td> </tr> </tbody> </table>	委員	斎藤美綺	株式会社 nitorito 取締役 デザイナー	委員	佐々木隆行	JA 山形おきたま米沢地区青年部 委員長	委員	土田良雄	米沢市スポーツ協会 会長																																													
委員	斎藤美綺	株式会社 nitorito 取締役 デザイナー																																																					
委員	佐々木隆行	JA 山形おきたま米沢地区青年部 委員長																																																					
委員	土田良雄	米沢市スポーツ協会 会長																																																					
事務局	市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、学校教育課長、議会事務局次長、政策企画課長、政策企画課長補佐兼未来都市推進室長兼総合計画策定室長、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、政策企画課主事																																																						
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) よねざわまちづくりフォーラムの報告について 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本構想(案)等について 6 閉会 																																																						
会議資料	<ol style="list-style-type: none"> (1) 次第 (2) 名簿 (3) よねざわまちづくりフォーラムの報告について……………資料1 (4) (仮称)米沢市総合計画(案)……………資料2 (5) よねざわ女子 Cafe 報告書……………参考資料1 																																																						

会議内容

【1 開会】

省略

【2 会長あいさつ】

皆さん、おはようございます。豪雪の中、お越しいただきありがとうございます。審議会も早いもので第4回になります。これまでの3回で委員の皆様からたくさんの御意見をいただき、心から感謝申し上げたいと思います。今日は委員の皆様からいただいた御意見やフォーラムでいただいた市民の皆様からのお声に基づき、総合計画の基本構想の原案ができております。今回も委員の皆様の忌憚のない御意見をいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

【3 市長あいさつ】

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。野々村会長をはじめ委員の皆様には、貴重な御意見、御提案をいただき、感謝申し上げます。総合計画について、基本構想を決める時期に近付いてまいりました。今年度4回の会議を開かせていただいているわけではありますが、それと同時並行でワークショップや様々な会議、各団体の方のお話も伺ってまいりました。また、役所の中でも会議や政策アドバイザー等の御提言もいただき、様々な意見を集約し、構想案を事務局から御提案させていただき、皆様から様々な御意見をいただければと考えております。私も市長に着任して、ちょうど1年になりました。好循環の米沢を作ろうということで、職員一丸となって取り組んでまいりました。人が集まり、活気があり、幸福度が高まる、市民の方々がシビックプライドを持ち続けることができるような好循環を作ろうという基本的な考え方は、私も座談会や様々な企業、学生とのミーティング等を通じて、共感いただいているのかなと手応えを感じているところであります。問題はその好循環社会をつくるにあたって、どう具体的なプランを組み立て、分かりやすいような形で市民の方に提供するかということだと思っております。本当に先の見えない社会であると多くの方々がおっしゃいます。現実には災害が昨年は頻発しました。また、災害だけではなく、10年前には考えられなかったような事件や事故、社会現象も起きていると思います。予測不能な社会だからこそ、明確なビジョンが必要なのだらうと思っております。ぜひ多くの市民の皆さんが関心を持ち、そして自分事として関わっていただけるような総合計画を目指してまいりたい、そして、分かりやすい計画を目指してまいりたいと思っておりますので、委員の皆様におかれましては、率直な御意見をお寄せいただければありがたいと思います。

【4 報告事項】

(1) よねざわまちづくりフォーラムの報告について

(資料1、参考資料1に基づき説明)

会長 御質問などございますか。
(質問等はなし)

【5 議事】

(1) 基本構想(案)等について

(資料2に基づき説明)

会長 パートに分けて御意見を承りたいと思います。まずは、第1部 序論につきましてお願いいたします。

委員 総合計画の実施主体は誰でしょうか。

事務局	基本的に市の計画になりますので、行政ということになります。ただ、施策によっては、役割分担するものもありますので、企業や市民の方に担っていただくものもあると思います。
委員	4、5ページの米沢市の姿が今までと変わったとの説明があったのですが、社会情勢のページも後段の基本目標の5分野に合わせて記載しているので、それに合わせて分けて記載したほうが最終的な一貫性が取れているのかなと思います。また、行政が主体になるという話だったので、行政が今までどのようなことに取り組んできたのかというところが書かれていないと思いました。基本目標にも関わってくると思うのですが、誰がやって、どこが責任を持って実施するのかというところを明記するような形でお願いしたいと考えました。
事務局	米沢市の姿、社会情勢のページは、後段の基本目標とのリンクを特に考えておらず、分かりやすく記載したものでございます。行政の取組については、これまでの取組を書くようなパターンもあります。基本計画の各施策に入れていくことになるとは思いますが、なるべくボリュームを減らして見やすいものにしたいと考えていますので、検討させていただきたいと思います。
委員	第4章の米沢市の姿で、数字だけを見せられても、具体的なイメージがつかないので、見せ方の部分にインパクトがあると、危機感も持つと思います。ストーリーが分かるような形で表現方法を考えていただけると見やすいかなと思いましたので、意見させていただきたいと思います。
事務局	これからデザインを入れながら作っていきたいと思いますので、その際に大事な部分が分かりやすいように表現していきたいと考えております。
委員	第4章の米沢市の姿のところですが、項目は今後増やすということはどうでしょうか。
事務局	あくまで案ですので、増やす、減らすということは可能です。
委員	平均寿命が項目にあるのですが、それと合わせて米沢市の健康寿命も載せることを検討していただければと思います。米沢市の健康寿命は延びていますので、ぜひお願いします。
事務局	明確な数値があるか確認し、検討したいと思います。
会長	それでは、第2部 基本構想にお進みいただきたいと思います。今日御審議いただく中で重要なところかと思いますが、いかがでしょうか。
委員	現行計画にも明記してあるのですが、学園都市という言葉は必要なのでしょうか。市長も中高一貫校の誘致を進められているというところもあって、学校の整備は進んでいると思うのですが、普段生活している中で、大学や高校が生活に関わっているのかどうかということが見えない部分があると思います。今まで協力いただいていることは重々承知なのですが、それ以上のことは何もなっていないという感じがしました。知らないだけかもしれませんが、それを活かしたまちづくりとして、何をしているのかというところが一般の方々には分からないような気がします。もし載せるのであれば、メイン事業が必要で、協議していただきたいと思いました。載せるのが駄目だというわけでは決してなく、載せる以上はこういうことをやっていきたいと思います。載せるのが駄目だということを明確にしてほしいと思いました。あと、将来人口で減らさないようにするという話があったのですが、逆だと思っています。減らさないのではなく、どう増やしていくか。あくまでも計画なので、減らさないようにしていくと、どうしてもマイナス思考になるとは思います。例えば、出生率をどう上げていくかとか、流入などでどう人口を増やしていくかというプラスで

考え、将来に夢を持たせるような内容にしたほうが良いと思います。

事務局

学園都市という文言ですけれども、現行計画でも入れている文言でして、米沢市の1番の特徴を考えた時に、市内に3つの大学があって、高校もあり、学生が多くいる、今後人口減少が進んでいく中で、若者世代をどう残していくのかということは非常に大事になってくると思います。そういった中で、大学等と連携して進めていくことが今後必要だろうと考えまして、学園都市を入れてはどうかということで入れさせていただいたところです。

委員

私も関わっていたので、よく分かっているのですが、それをどう表現していくかとか、市民の方々に知っていただくような計画をどうつくっていくかということが1番大切になります。例えば、学生は買い物に行きたいと歩いているわけです。バスを出してあげようとか、学生に対しても優しい事業をしていくなど、お互い様の部分もあると思います。具体的な動きまでできるような下支えをする計画、高校生、大学生にとって夢が持てるような計画をみんなで作って、それを公表して認知していただくとか、そういうやり方が大切ではないかと思いました。なぜ学園都市が入っているのか疑問に思われるようなことがないようにお願いします。

会長

私も大学に所属しているので、実感もお話したいと思います。山形大学、特に工学部は地域創生を1つの柱にしている、市の目標の中で産業に関するものが現行計画だと1番上位、次期計画でも2番目にされていて、非常に大事な内容かと思っています。特色あるまちづくりの基盤として、150名の教員がおりますけれども、米沢栄養大学の皆さんも同じようにやってきているわけなのですが、それが地元の皆様に見える形になっていないということは、我々も課題として考えているところです。いろいろなイベントなどをやっていたりしていますが、それが見える化されていないということは、御指摘のとおりかと思っていますので、今回の総合計画を通して、学園都市で良かったなと思ってもらえるようになりたいと思います。あと、学生のサポートのところも御指摘いただいて、ありがたいと思います。米沢市でもバスの経路で興譲館高校をつなぐような路線にさせていただいて、このような取組を我々からもどんどん提案していかなければいけないと思いました。

委員

米沢市の人口で今までで1番多かった時は何人でしょうか。米沢市の姿で出生数と死亡数の数字があるわけなのですが、米沢市だけでなく、日本で最大の課題は、人口減少と少子高齢化だと思います。出生数を上げるということも、子育て環境を良くしてもなかなか上がらない気がしておりまして、外部から人を持ってくるのが1番早いのではないかなと思います。転入と転出には大学生とかも入っていると思うのですが、それを除いた数字があれば分かりやすいのかなと思いました。本校の保護者でとても活躍している方がおられまして、田沢出身の方だと思っていたら東京からいらっしゃった方でした。そういう人をどんどん増やしていくべきではないかなと思いました。また、山形県での米沢市の1番の売りは東京に近いことだと思っています。例えば、東京の人から見たら、秋田と山形はどちらが上にあるのだろうということで知らないと思います。なので、全面的にPRして、外部から人を連れてくると何か起きるのではないかなと思います。

事務局

11 ページに人口ビジョンの推計部分の数字を持ってきております。転入・転出については、どこまでの数字が把握できるか確認しなければいけないのですが、なるべくそういったものを把握するようにしたいと考えております。また、人口推計については、日本全体として人口が減っていく中で、出

生数を上げる取組などは今後必要になってきますので、取り組んでいきたいと考えております。ただ、全体的な傾向を見ても、人口を増やすというところは正直かなり厳しいと言われております。ですので、出生数を増やすとともに、転入者を増やし、転出者を抑制することは必要ですし、なるべく人口減少していくことは避けられないという中でも、スピードを緩やかにしていくというような状況でございますので、御理解いただければと思います。

会長

人口推計は専門の方がシミュレーションをされて出されている数字なのかなと思います。市役所からも7万人という数字はチャレンジングな数字であると伺っております。この数字を専門的な観点から見て7万人にすることが妥当であるということであればよろしいかと思うのですが、書き方として何とか抑えるということではなく、出生率を上げていく、そして、転入者を増やしていく施策をして、いろいろな方に来ていただき、推計値よりこれだけ抑制するというような書き方にすると、米沢市ならではの取組が生まれる起爆剤になるのかなと思いました。なので、数字は専門的な観点からもう一度見直していただきたいということはありますけれども、その書き方のところは、前向きないろんなアイデアとか活動が生まれる起爆剤になるよう工夫していただきたいと思います。

事務局

補足させていただきますと、人口については親になる世代の人口は決まっていますので、それが極端に増える、移住施策で増えるといったことがない限り、親となる世代は減っていくので、生まれるこどもも減って人口が減ってしまうということは、10年間で変えていくのは難しいという状況であります。ただ、書きぶりについては、もう少し前向きな形に変えていきたいと思っております。

委員

将来像の「しあわせ循環」を決めた経緯ですが、女性活躍という言葉は入れなかったのでしょうか。基本目標を見ると、子育て・教育は女性がテーマになってくる部分でもあると思いますし、産業・経済に関しても女性が活躍できる企業を誘致したいという市長のメッセージも聞いていて、環境・防災・社会基盤に関しましても、全国的に防災意識が高まる中で、子育て世代にどこまで防災情報を提供できるかがトレンドになっていて、健康・医療・福祉に関しましても、小児科を含めて取り組まれているというお話があり、女性活躍がテーマとしては必要かなと思いました。この1年、市長のメッセージを聞く中で、女性活躍が重要なキーワードだなと思っていて、それが事務局案の中にはないということは何か理由があったのでしょうか。

事務局

女性活躍が大きなテーマとしてあることは承知しております。ただ、女性だけではなく、多様性という部分もありますので、あらゆる主体が協力して作り上げていくということを出したかったということでもあります。女性活躍は重要なテーマと考えていますので、基本計画の中で記載していきたいと思っております。

委員

全世界的に女性活躍が取り沙汰されていて、一企業の代表として、人口減少が進む担い手不足の中で、これだけ多様性と言われている世の中でも女性活躍があげられていて、ここで米沢市の目標に入ると、すごく先進的というか、市民の方々に共感いただくこともなかなか難しいとは思いますが、ここで言っても良いのかなと思いました。学園都市を入れるかという話もありましたけれども、実感がある人とない人がいる中で、基本構想を共感いただきながら10年の目標に据えるという意味では、女性活躍はほしいなという意見でした。

会長	将来像は文字数の問題とかもあって、なかなか入れられないところもあったりとかすると思います。実際に将来像を使われる時は、ここだけが使われるというわけではなく、下に書いてある説明もセットで使われることが多いかなと思います。今の御指摘の女性活躍は、大学でもすごく大事なポイントになっていて、キャッチフレーズの中にそれに関するキーワードか、説明のところで入れてもらえると良いかなと思います。
委員	将来像の説明のところ、「こどもたちが健やかに育ち、若い人材が集り、経済が潤う」と書かれています。非常に重要なことだと思います。最後のところに、「地域の豊かさにつながる循環の連鎖が生まれるまち」とあるのですが、循環のところに高齢者もいろいろな分野の担い手として活躍されていると思いますが、そういう人たちの位置付けはどうなっているのでしょうか。
事務局	高齢者といった表現は書いていないですけども、高齢者の方々も地域を支える存在として今後も活躍していただきたいと考えておりますので、女性活躍も含めて、説明の中で書けるよう検討させていただきたいと思います。
委員	若者を強調したいというところは十分分かりますので、高齢者の活躍も一言触れていただきたいなと思います。
会長	議論の中でも連携という言葉がよく出てきていました。事務局からも多様性を重要視しているという話がありましたので、世代とかを超えた多様性の気持ちで連携していくというようなことを読み取れる説明にしていくとよろしいかなと思いました。
委員	学園都市という言い方ですと、大学を中心とした言い方に感じてしまうので、小中高も含めた若者とか、若者が育つまちとか、若者をつくるまちとか、そういった表現にすることで、包括的に若い人材を重要視するということが含まれるのではないかなと思います。若者とすることで意味を膨らますことも可能かなと思います。
事務局	学園都市には大学生とかの若者という意味もあるのですが、大学等の知見を活用するといったところも含めての学園都市だと思っておりますので、学園都市というキーワードを若者に置き換えるということは難しいかなと考えております。ただ、説明の中でそういったところが足りないという部分はありますので、考えていきたいと思います。多様性については、説明で加えるのか、あるいはサブタイトルとして考えるのかということはありませんけれども、若者や女性、様々な主体が考え、生き活きと活躍できる、そういったまちにするというところの表現を入れていきたいと思います。
委員	将来像に関する事なので、学園都市という表記だと、その将来どういう姿を米沢市が目指しているのかということと、現状は学園都市であるということとは事実なのですが、学園都市を今後どうするのか、学園都市を活かしたのか、学園都市で何をするのかということと、それが将来像の一番大事なところに当たるのであれば、そこを文言として明記するのが良いのかなと感じました。
会長	大事なのはどの言葉を使うかということではなく、その裏にある思い、思想が盛り込まれているかということだと思いますので、検討していただきたいと思います。
委員	13 ページの棒グラフについて、令和元年度と令和6年度の結果を比較したのですが、黒いグラフが市民とあるのは令和6年度の間違いですので、修正をお願いします。

委員	<p>将来像案について、学園都市はなかなか携わっていないと分からないという意見もございましたけれども、19 ページに案で出されているものに全てサブタイトルがついています。現行計画にはないようですが、例えば、「子育て、仕事、暮らしの好循環を目指して、しあわせ循環学園都市・よねざわ」というような見せ方をすると、市民の方も自分たちも関係しているということが分かるのかなと思いました。説明書きがなくても、市民全てが将来像に関わっていると捉えられるのかなと思ったところでした。もう1点、17 ページの基本目標2の産業・経済の「働く環境を整備する」というところで、新産業団地の誘致場所の決定という部分があるかと思うのですが、場所が決定してから実際に企業を誘致して雇用が生まれるまでに、1年、2年ではなくて、だいぶ時間がかかるというようなお話を聞いております。そのような中で、10年計画の後半にきてしまうと、後ろにだいぶずれ込んで、実現が難しくなってくるのかなと思いますので、新産業団地はなるべく早く、計画の前半で実現できるような取組もお願いできればと思ったところです。</p>
事務局	<p>新産業団地は検討を進めているところです。「働く環境の整備」と書いてありますので、期間内に進められるようにしてまいります。</p>
委員	<p>よねざわまちづくりフォーラムや女子カフェとかいろいろなことをしているとと思うのですが、話し合った結果がどのように計画に反映されているかということを表記していただきたいと思います。今後出る具体的な内容でも構わないと思いますので、やったからには反映させるという意味でも記載をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>基本計画の中で表現できればと考えております。</p>
委員	<p>将来像のところで、こどもたち、若い人材、高齢者ということももちろんありましたけれども、私たち市民全てという表現も入れていただければなと思いました。限定されている感じがありました。あと、ワークショップも5回ほどやっているのですが、その辺も皆さんに分かっていただけるようにしてもらいたいと思いました。</p>
会長	<p>若者や女性がキーワードであるということはもちろん大事なところなのですが、市民一人ひとりが取り残されない社会というような御指摘でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>若者や女性だけでなく、市民全体という内容の記載を検討したいと思いません。</p>
会長	<p>ワークショップの件はいろいろ使えるアイデアがたくさん盛り込まれているように思いますので、このような意見から新しい市の政策が生まれたというところを分かるような形にさせていただくと、高校生や大学生が発言したことが形になったと感ぜられると思います。</p>
委員	<p>基本目標1の表現だと、今のこどもたちが米沢に誇りを持っていないような印象があります。私は米沢の人たちはとても誇りを持っていると思います。市内の小学校・中学校の体育館には上杉鷹山公の肖像があります。米沢の子は誇りを持っていると思いますので、「さらに」としてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>基本目標3、施策3-5にある土地利用・住環境の部分について、深く書いてほしいと思います。空き家対策のところはもっと明確に示していただいた方がよいと思いました。廃校の活用も出てくることになるかと思うので、そういった部分の記載は入れていただきたいなと思ったところがございます。あと、防災について、共に助け合うだけではなくて、自助の部分が</p>

大事になってくると思いますので、自助をしっかり促すことで、防災対策につながってくるかと思えます。

事務局

基本目標はある程度包括的に書かせていただいている部分もありますので、空き家対策は非常に大事な内容だと思えますが、ここに載せたほうが良いか、基本計画に明記したほうが良いかといったところも検討させていただきたいと思えます。

委員

これからの米沢に必要なものを考えた時に、1番は働く場所だと思えました。また、長期で考えた時には、共助が非常に重要な観点になるのではないかと思えました。それが住みやすさとかにつながるということで、その2つを大きな視点にした計画にしなければならないのではないかと思えました。働く場所は載っているのですが、共助の精神はどこに載せているのか、お伺いしたいです。

事務局

共助は様々なところで関連してくるものだと思います。防災の話もそうですし、福祉の部分もありますので、様々なところで共助が出てくるようなイメージになるのかなと考えております。

委員

市民の方たちに共助の精神を醸成していくことが必要だと考えていて、意見しました。あと、基本目標で気になったのは、1から5とありますが、これは優先順位ではなく、並列という考え方で良いでしょうか。

事務局

順位ではなくて、全て並列になります。

会長

13ページのKGIのところなのですが、現在は5.87で6.00点が目標になっていて、いくつにするのが適当なのかが難しいということは分かっているのですけれども、5.8を6にするのだと維持するという感じになり、せっかく新しい指標を行政としてもチャレンジさせていただいたのに、なかなかモチベーションが上がらないと思えて、統計的などところがあることは重々分かっているのですが、上げていることが分かる、伝わる目標になるような表記の仕方にしていただきたいなと思えました。

事務局

事務局としましては、幸せを感じる人を上げたいという意味で、6点という目標を掲げております。ただ、表記については検討させていただきたいと思えます。

会長

「6.00」と書くのと「6」と書くのは意味合いが違いますので、そういう工夫をするだけでも意味合いが変わると思えます。

委員

KGIの地域幸福度に関してですが、説明文もそのまま載る形であるならば、全体的な部分も含めて、共助の醸成について書くと良いと思えました。「しあわせ循環」に直結する部分だと思っているので、共助の精神が醸成されるから幸せが循環する、その上で地域幸福度が上がるといったストーリーを説明に網羅していただくと良いと思えます。今の説明だと目標とどういうようにコミットして、どういうように上がっていくのかということがイメージしにくいので、「しあわせ循環」というキーワードに合わせて、目標設定に沿った説明文があるとイメージしやすいのかなと思えました。

事務局

目標に沿った形で説明ができるよう調整したいと考えています。

市長

大変貴重な御意見ありがとうございました。皆さんで議論をしていただくいろいろな意見が出てくるなど改めて実感をしたところでもあります。いくつか大変大事な指摘もございました。特に、女性活躍は非常に大事なところでありまして、これは本当に時代の要請でありますし、いただいた意見を踏まえて、検討していきたいと思えます。あと、学園都市について、いろいろなご意見が出ました。何も大学のことだけを言っているのではなくて、高校

もあれば小中学校もあり、要するに人材を育てている。また、生涯教育も含めて人を育てていくということ。これは今まさに、年齢や環境を問わず自分のスキルアップをしていく、そういうまちに米沢をつくっていくという意味も含めて、学園都市という位置付けをしたいということが事務局の思いであります。あえて言うと、私は米沢市には山形大学、米沢栄養大学、米沢女子短期大学があり、運命共同体であると言っております。これは米沢の特徴を考えると、3つの大学と連携して運命共同体のようにまちづくりをしていくということは、これからの米沢の生き残りを考えた時に非常に大事なポイントになると思います。ヨーロッパやアメリカの例を見ても、地域の大学とともに産業を起こしている。学園都市と言いながら、率直に言ってこれまで活かし切れていなかったという反省も込めて、これから活かし続け、その中に実は大学だけではなくて高校も出てくるのかなということで、新しい鶴城高校も誕生することでありまして、立派な私立高校も2つあります。加えて、中高一貫校も含めて学園都市という言い方をさせていただきました。企業にとっても良い人材を育てるということは、極めて重要な産業政策、経済政策だなという位置付けでやらせていただいているという思いがあります。他にも様々な御意見がありました。障がいを持っている方も含めて、全ての人に居場所がある、活躍の場所がある、そういうまちが幸福度の高いまちであるということだと思っております。人口は今後10年間減り続けます。生まれた人と亡くなった人の差し引きは、20年前の政策が今に反映されるわけでありまして、今政策を変えたところでトレンドは変わりません。移民政策でも取らない限り無理であります。ただ、子育てするなら米沢市、母になるなら米沢市ということで取り組むことで、20年後、自然減をプラスに転じることができると思い、やっているわけでありまして。同時に、働く場所を作って社会減をなんとしてもプラスにしていく。いずれにいたしましても、いかに明るくわくわく感を感じられるものにしていけるかという作り込みはおっしゃるとおりかなと思いますので、そういう意味でウェルビーイング、地域幸福度というチャレンジングな指標を入れ込んで、みんなが幸福を感じましょうという新しいコンセプトを入れ込みたいなということでもあります。様々な大変な良い御意見をいただきましたので、基本構想だけではなくて、基本計画でも皆さんがわくわく感を感じていただけるようなものにしていきたいと思っておりますので、引き続き御意見をいただければと思います。今日はありがとうございました。

【6 閉会】

省略